

令和元年度
第2回区民アンケート報告書

大阪市鶴見区役所

目 次

■ アンケート概要	1
ご回答いただいた方の基本事項について	2
1. 鶴見区の魅力について	
問1 鶴見区では、区民のみなさんがまちの魅力を感じ、区への愛着を深めていただけるようさまざまなイベント・事業に取り組んでいます。あなたはこれらの取り組みを通じて、鶴見区は面白い、魅力あるまちだと感じますか。	4
2. 安全で住みやすいまちづくりについて	
問2 鶴見区では、地域と連携し、さまざまな防犯事業に取り組んでいます。あなたは、次に記載した防犯事業を知っていますか。知っている防犯事業を選んでください。	5
問3 (問2で「知っている防犯事業があった方」へ) 鶴見区で実施している防犯事業が、区の犯罪抑止につながっていると感じますか。	6
問4 鶴見区では、地域・関係機関と連携した交通安全対策事業(子育て層、高齢者、幼児、児童、中・高校生など各対象別の交通安全教室などの交通マナーを高める取り組み)を行っています。あなたは、次に記載した交通安全対策事業を知っていますか。知っている交通安全対策事業を選んでください。	7
問5 (問4で「知っている交通安全対策事業があった方」へ) あなたは、鶴見区が実施している交通安全対策事業が区の交通マナー向上につながっていると感じますか。	8
問6 あなたは、鶴見区は安全で住みやすいまちと感じますか。	9
3. 地震・風水害等の災害について	
問7 あなたは、浸水や倒壊により自宅で生活できなくなった時に避難する自分(家族)の災害時避難所がどこにあるか知っていますか。	10
問8 あなたは、いざという時に備えて、食料や飲み水の備蓄や家具の転倒防止等の防災対策をしていますか。	11
問9 鶴見区では、各地域で防災訓練が実施されています。あなたは、各地域で実施されている防災訓練を知っていますか。	12
問10 (問9で「1 知っている」と回答された方へ) 地域で実施されている防災訓練に参加していますか。また、訓練は、ご自身の防災に役立っていると感じますか。	13
問11 鶴見区では、地域で実施されている防災訓練のほか、さまざまな防災事業を行っています。あなたは、次に記載した防災事業を知っていますか。知っている防災事業を選んでください。	14

問 12	あなたは、地震・風水害などの災害に対する、鶴見区全体の危機管理の取り組みが進んでいると感じますか。—————	15
問 13	鶴見区では、災害など危機事象ごとの計画をまとめた「鶴見区地域防災計画」（鶴見区ホームページに掲載）を作成しています。あなたは、「鶴見区地域防災計画」やその取り組みを知っていますか。—————	16
4. まなびを通じたつながりづくりについて		
問 14	鶴見区では、「人権啓発推進セミナー」「ヒューマンシアター」「校下別人権学習会」「連続講座」「街頭啓発」などの人権教育・啓発の取り組みを行っています。あなたは人権尊重のまちづくりが進んでいると感じますか。—————	17
問 15	（問14で「3 どちらかといえば感じない」「4 感じない」と回答された方へ） 人権尊重のまちづくりが進んでいると感じない理由は何ですか。—————	18
問 16	鶴見区では、「生涯学習ルーム」「生涯学習ルームフェスティバル」「生涯学習セミナー」「おもてなし茶会」「生涯学習一日体験 学び舎つるみ」「家庭教育支援講座」などの生涯学習の取り組みを行っています。あなたはまなびを通して人との関わりやつながりを感じますか。—————	19
問 17	（問16で「3 どちらかといえば感じない」「4 感じない」と回答された方へ） まなびを通して人との関わりやつながりを感じない理由は何ですか。—————	20
問 18	あなたは、鶴見区が花や緑あふれるまちだと感じますか。—————	21
5. 鶴見区全般について		
問 19	今後、だれもが安心して暮らせるまちづくりを進めるにあたり、取り組んだらよいと思うアイデア等がありましたら、ご記入ください。—————	22
アンケート調査票—————		24

■アンケート概要

(1) 第2回区民アンケートの目的

区民の皆さんがお互いに支えあい、だれもが安心して暮らせるまちの実現に向け、区の魅力について、安全で住みやすいまちづくりについて、地震・風水害等の災害について、まなびを通じたつながりづくりについてなど、広く区民の皆さんにお伺いし、今後の施策の進め方の参考にさせていただきます。

(2) 区民アンケートの実施状況

実施期間	: 令和元年 11 月 29 日 (金) ~12 月 13 日 (金)
実施方法	: 郵送によるアンケート
対象者	: 無作為抽出 1,000 名
回答者数	: 493 名
宛先不明返戻分	: 10 名
回答率	: 49.8%

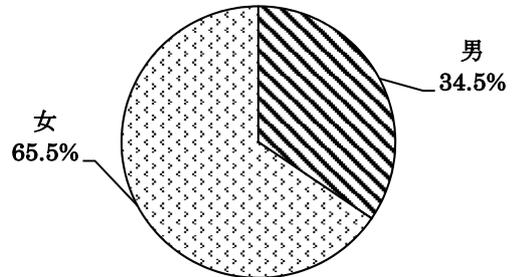
(3) 報告書に関する留意点について

回答構成比(%)は、設問ごとの回答者数を100%として、各実数をもとに算出した数値の少数第2位を四捨五入しています。そのため、構成比の合計が100%と一致しない場合があります。

ご回答いただいた方の基本事項について

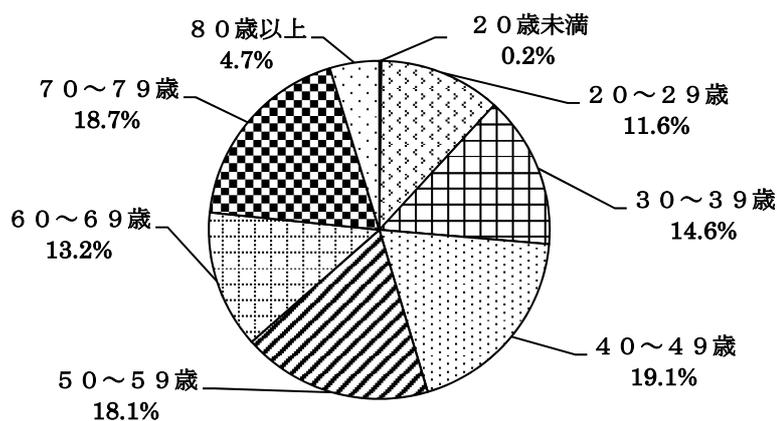
性別

	n数	男	女	その他	無回答
回答者計(名)	493	170	323	0	0
回答者計(%)	100.0	34.5	65.5	0.0	0.0



年齢

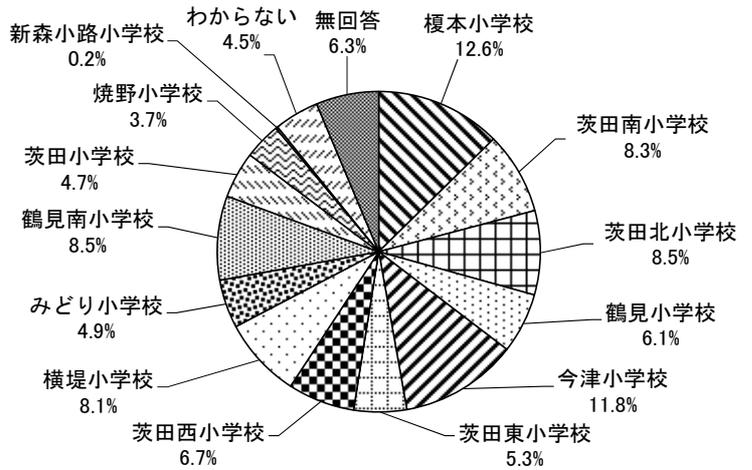
	n数	20歳未満	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳以上	無回答
回答者計(名)	493	1	57	72	94	89	65	92	23	0
回答者計(%)	100.0	0.2	11.6	14.6	19.1	18.1	13.2	18.7	4.7	0.0



小学校区

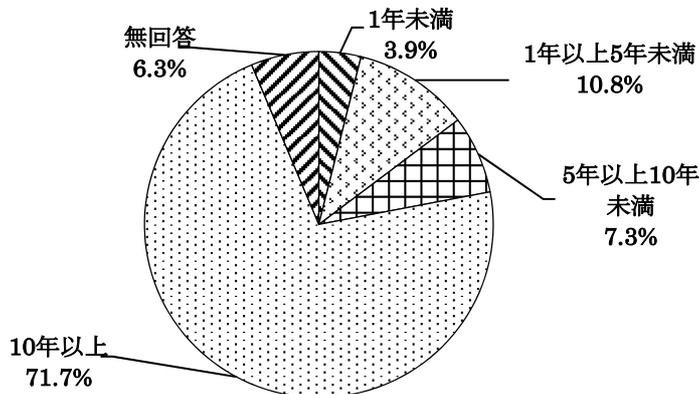
	n数	榎本小学校	茨田南小学校	茨田北小学校	鶴見小学校	今津小学校	茨田東小学校	茨田西小学校	横堤小学校	みどり小学校	鶴見南小学校	茨田小学校
回答者計(名)	493	62	41	42	30	58	26	33	40	24	42	23
回答者計(%)	100.0	12.6	8.3	8.5	6.1	11.8	5.3	6.7	8.1	4.9	8.5	4.7

	焼野小学校	新森小路小学校	わからない	無回答
回答者計(名)	18	1	22	31
回答者計(%)	3.7	0.2	4.5	6.3



居住年数

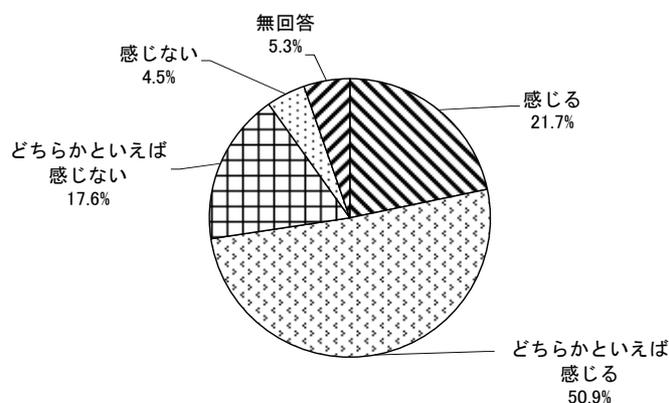
	n数	1年未満	1年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上	無回答
回答者計(名)	493	19	53	36	354	31
回答者計(%)	100.0	3.9	10.8	7.3	71.8	6.3



1. 鶴見区の魅力について

問1 鶴見区では、区民のみなさんがまちの魅力を感じ、区への愛着を深めていただけるようさまざまなイベント・事業に取り組んでいます。
あなたはこれらの取り組みを通じて、鶴見区は面白い、魅力あるまちだと感じますか。(1つ選んでください)

	n数	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	無回答
回答者計(名)	493	107	251	87	22	26
回答者計(%)	100.0	21.7	50.9	17.6	4.5	5.3



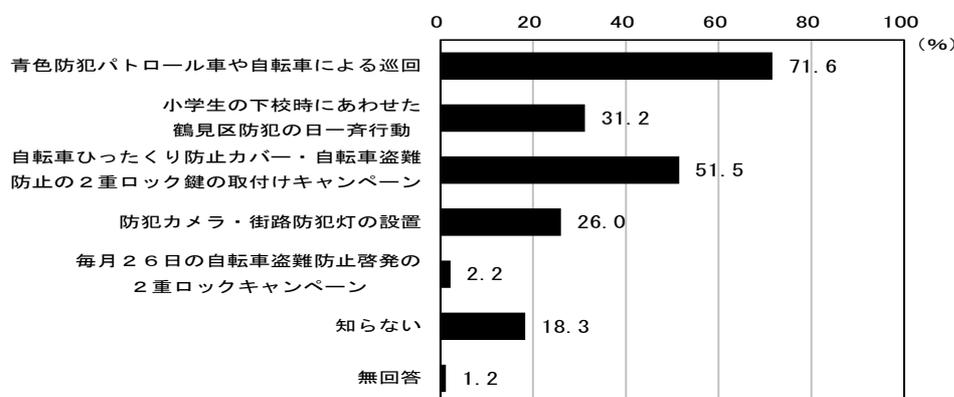
- 【全体的傾向】 「感じる」(21.7%)、「どちらかといえば感じる」(50.9%)と72.6%の方が鶴見区は魅力あるまちだと感じている。
- 【年齢別傾向】 全ての年代で「どちらかといえば感じる」が最も多く、最多は40代(64.9%)。次いで30代から50代、70代以上は「感じる」が多く、最多は80歳以上(30.4%)。20代、60代は「どちらかといえば感じない」(それぞれ21.1%、21.5%)が多い。
- 【居住年数別傾向】 全ての居住年数で「どちらかといえば感じる」が最も多く、最多は1年未満(57.9%)。次いで1年以上5年未満、10年以上は「感じる」(それぞれ22.6%、22.3%)が多く、1年未満、5年以上10年未満は「どちらかといえば感じない」(それぞれ26.3%、19.4%)が多い。
- 【小学校区別傾向】 全ての小学校区で「どちらかといえば感じる」が最も多く、最多は茨田西小学校(66.7%)。次いで榎本小学校、鶴見小学校、今津小学校は「どちらかといえば感じない」(それぞれ16.1%、26.7%、31.0%)が多い。茨田小学校は「感じる」、「どちらかといえば感じない」が同数(17.4%)で、その他の小学校区は「感じる」が多く、最多は焼野小学校(33.3%)。

2. 安全で住みやすいまちづくりについて

問2 鶴見区では、地域と連携し、さまざまな防犯事業に取り組んでいます。

あなたは、次に記載した防犯事業を知っていますか。知っている防犯事業を選んでください。(いくつでも選んでください)

	n数	青色防犯パトロール車や自転車による巡回	小学生の下校時にあわせた鶴見区防犯の一日斉行動	自転車ひたたくり防止カバー・自転車盗難防止の2重ロック鍵の取付けキャンペーン	防犯カメラ・街路防犯灯の設置	毎月26日の自転車盗難防止啓発の2重ロックキャンペーン	知らない	無回答
回答者計(名)	493	353	154	254	128	11	90	6
回答者計(%)	100.0	71.6	31.2	51.5	26.0	2.2	18.3	1.2



【全体的傾向】 「青色防犯パトロール車や自転車による巡回」(71.6%)が最も多く、次いで「自転車ひたたくり防止カバー・自転車盗難防止の2重ロック鍵の取付けキャンペーン」(51.5%)が多い。

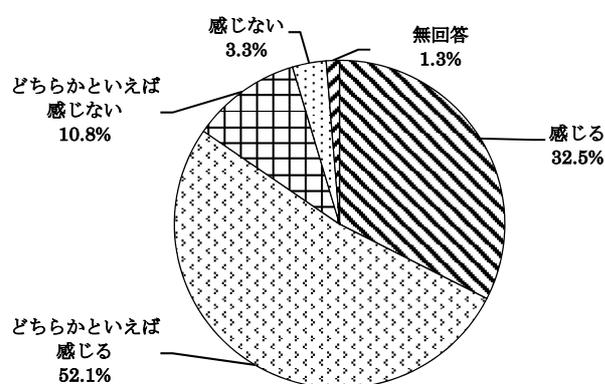
【年齢別傾向】 全ての年代で「青色防犯パトロール車や自転車による巡回」が最も多く、最多は60代(81.5%)。次いで「自転車ひたたくり防止カバー・自転車盗難防止の2重ロック鍵の取付けキャンペーン」が多く、最多は70代(63.0%)。

【居住年数別傾向】 1年未満は「知らない」(68.4%)が最も多い。その他の居住年数では「青色防犯パトロール車や自転車による巡回」が最も多く、最多は10年以上(78.0%)。次いで1年以上10年未満は「知らない」(35.8%)が多い。その他の居住年数は「自転車ひたたくり防止カバー・自転車盗難防止の2重ロック鍵の取付けキャンペーン」が多く、最多は10年以上(55.6%)。

【小学校区別傾向】 全ての小学校区で「青色防犯パトロール車や自転車による巡回」が最も多く、最多は焼野小学校(83.3%)。次いで「自転車ひたたくり防止カバー・自転車盗難防止の2重ロック鍵の取付けキャンペーン」が多く、最多は焼野小学校(77.8%)。

(問2で「知っている防犯事業があった方」へ)
 問3 鶴見区で実施している防犯事業が、区の犯罪抑止につながっていると感じますか。
 (1つ選んでください)

	n数	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	無回答
回答者計(名)	397	129	207	43	13	5
回答者計(%)	100.0	32.5	52.1	10.8	3.3	1.3



【全体的傾向】 「感じる」(32.5%)、「どちらかといえば感じる」(52.1%)と84.6%の方が鶴見区で実施している防犯事業が犯罪抑止につながっていると感じている。

【年齢別傾向】 70代、80歳以上は「感じる」(それぞれ45.7%、47.6%)が多く、その他の年代は「どちらかといえば感じる」が多く、最多は40代(66.2%)。

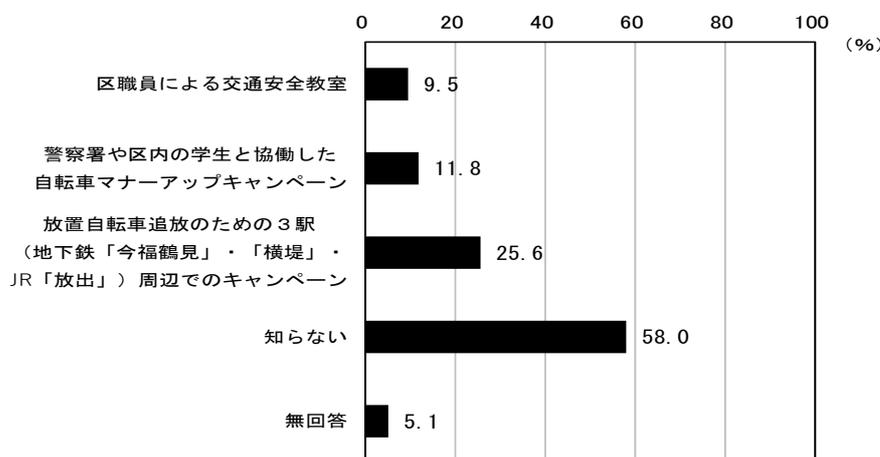
【居住年数別傾向】 全ての居住年数で「どちらかといえば感じる」が最も多く、最多は1年未満(83.3%)。次いで「感じる」が多く、最多は10年以上(34.8%)。

【小学校区別傾向】 焼野小学校は「感じる」(41.2%)が多く、今津小学校は「感じる」「どちらかといえば感じる」が同数(45.7%)である。その他の小学校区は「どちらかといえば感じる」が多く、最多は茨田東小学校(69.6%)。

問4 鶴見区では、地域・関係機関と連携した交通安全対策事業（子育て層、高齢者、幼児、児童、中・高校生など各対象別の交通安全教室などの交通マナーを高める取り組み）を行っています。

あなたは、次に記載した交通安全対策事業を知っていますか。知っている交通安全対策事業を選んでください。（いくつでも選んでください）

	n数	区職員による交通安全教室	警察署や区内の学生と協働した自転車マナーアップキャンペーン	鶴見の3駅（地下鉄「今福鶴見」・「横堤」・JR「放出」）周辺でのキャンペーン	知らない	無回答
回答者計（名）	493	47	58	126	286	25
回答者計（％）	100.0	9.5	11.8	25.6	58.0	5.1



【全体的傾向】 「知らない」（58.0％）が多い、事業を知っている中では「放置自転車追放のための3駅周辺でのキャンペーン」（25.6％）が多い。

【年齢別傾向】 全ての年代で「知らない」が多く、最多は50代（68.5％）。事業を知っている中では「放置自転車追放のための3駅周辺でのキャンペーン」が多く、最多は70代（39.1％）。

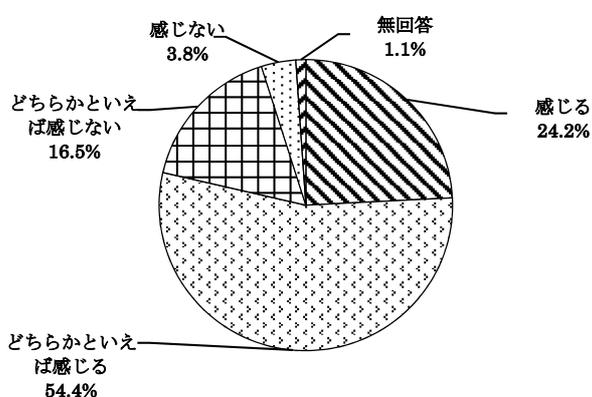
【居住年数別傾向】 全ての居住年数で「知らない」が多く、最多は1年以上5年未満（77.4％）。事業を知っている中では「放置自転車追放のための3駅周辺でのキャンペーン」が多く、最多は10年以上（29.1％）。

【小学校区別傾向】 榎本小学校、鶴見小学校は「放置自転車追放のための3駅周辺でのキャンペーン」（それぞれ53.2％、43.3％）が多い。その他の小学校区は「知らない」が多く、最多は茨田北小学校（81.0％）。

問5 (問4で「知っている交通安全対策事業があった方」へ)

あなたは、鶴見区が実施している交通安全対策事業が区の交通マナー向上につながっていると感じますか。(1つ選んでください)

	n数	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	無回答
回答者計(名)	182	44	99	30	7	2
回答者計(%)	100.0	24.2	54.4	16.5	3.8	1.1



【全体的傾向】 「感じる」(24.2%)、「どちらかといえば感じる」(54.4%)と78.6%の方が鶴見区で実施している交通安全対策事業が交通マナーの向上につながっていると感じている。

【年齢別傾向】 20代から70代は「どちらかといえば感じる」が多く、最多は30代(65.2%)。80歳以上は「感じる」「どちらかといえば感じる」が同数(44.4%)である。その他の項目は年代で大きな違いは見られない。

【居住年数別傾向】 全ての居住年数で「どちらかといえば感じる」が多く、最多は5年以上10年未満(71.4%)。その他の項目は居住年数で大きな違いは見られない。

【小学校区別傾向】 全ての小学校区で「どちらかといえば感じる」が多く、最多は茨田北小学校(71.4%)。その他の項目は小学校区で大きな違いは見られない。